

日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代 です

No. 69
2016・8・2
連絡先
453-7758

議会質問
6月一般

市が南側斜面の湧水を確認
業者に十分な調査を求めている

5月14日、紛争予防条例に基づく業者による説明会が山口地区、岩出市境谷地区住民を対象に北コミュニティセンターで行われ、約450人の住民が参加しました。全体で2時間の説明会中、住民からの質問が20分程度、業者の回答が10分程度で「あとは意見書として提出して下さい」との対応に、住民から強い抗議の声が多数あがりました。また、近畿測量(株)から、山口地区連合自治会が市に提出した「調査報告書」に対する反論の一つに、「計画地南側斜面の湧水の3地点中、1地点しか湧水がなく、2地点は涸れている」との内容に、地元から「私たち30回以上確認した。たった1回の調査では分からない！」との強い抗議の声もありました。このような状況を踏まえ質問をしました。

説明会について



日本共産党 和歌山市議員
南畑 さち代

質問 市は説明会の内容を把握しているのか。住民からどのような声が寄せられているのか。

答弁 説明会には職員3名が傍聴した。説明会の終盤で事業者と住民の間で意見の行き違いがあったと報告をうけている。

山口地区連合自治会から、『事業計画』や『生活環境影響調査』の説明内容が極めて不満足であるとの報告書が提出されている。

湧水について

質問 計画地南側斜面の湧水について業者と地元の調査に差異がある。市は湧水を確認したのか。市は業者にどう対応しているのか。

答弁 山口地区連合自治会から計画地南側斜面から湧水の確認ができるとの報告があり、環境部の職員が現地地域住民と一緒に確認し、平成28年5月11日付け文書で事業者へ通知している。

現在計画地の南側斜面の湧水について、業者に十分な調査を実施し、説明するよう求めている。

耐震設計について

質問 耐震設計について、業者は日本道路協会の指針を基に設計したと言

うが、どんな場合でも地盤の状況を基に設計するのが当然だと思う。道路協会の指針を基に設計したと言いが、どんな場合でも地盤の状況を基に設計するのが当然だと思う。道路協会の指針を基に設計された計画は安全といえるのか。どこが判断するのか。



答弁 耐震については、廃棄物処理法で規定されている産業廃棄物処理施設の技術上の基準は、「地震力等に対して構造耐力上安全であること」とされている。今後、施設の設定に関する計画が、法で定める技術上の基準に適合しているか否かについて慎重に審査し、判断していく。

※湧水については、業者の調査が不十分だったということにほかなりません。住民から追及されてやっと調査をはじめ業者を信頼せよという方が無理です。

耐震については熊本地震のように震度が繰り返すことを考えるとますますこんな危険な場所に、建設すべきでないと思えました。



下水道事業会計は 公営企業会計に移行するな！

総務省は2015年1月、下水道事業について、今後、施設の更新などに多額の費用がかかることや人口減少による収入減等により厳しさを増す経営環境を踏まえ、「下水道事業会計を19年度までに公営企業会計に移行するよう」通知しています。公営企業会計に移行すれば現在の特別会計よりも採算性と受益者負担を求められることとなります。和歌山市の下水道の普及率は15年度末で38・9%、接続率83・0%で中核市中最低位。使用料は4番目に高く(14年度末現在)累積赤字額は67億8千万円(14年度末現在)と多額の赤字を抱えている。このような状況下で採算性と受益者負担を求めるような下水道事業会計に移行すべきでないと考え、以下に質問をしました。

質問 不十分な整備状況の 企業会計に移行すべきでない市として、国のいうまま公営 と考えるが、今後の下水道事

答弁 業の方向性をどう考えるのか。公営企業会計に移行することにより、市民に対し資産内容と財産状況を明らかにすることになる。

質問 住民への影響はどうか。

答弁 中長期的な経営計画

議案告知 6月の他報

伏虎中学校跡地活用に関する特別委員会設置 経過説明

和歌山市は、

伏虎中学校の跡地に市民会館を移転させるための計画を進めています。ところが、昨年、県立医大に薬学部を新設するとして、その建設場所を伏虎中学校へという話が舞い込んできました。

を立て、経営改善を図りながら健全な経理基盤を築くことで市民に直接負担を求めることなく、より良質なサービスを安定的に供給できるよう引き続き市民の「安全・安心な暮らしの確保」に努める。

質問 普及が進まない中、

市民は合併浄化槽を設置している。合併浄化槽の普及について連携する考えはないか。

答弁 合併浄化槽の普及については、市域全体の汚水処理施設の整備が進むよう検討していく。

知事の誘導？ 問われる市の姿勢

昨年、10月30日に県と市が行う「連携会議」の中で知事が、「伏虎中学校の跡地に薬学部を持つてきたらどうかと勝手に検討させてもらっている」と発言していたこと、市長はそのことを受けて、次の

会議で「薬学部は伏虎中学校でお願いします」と依頼していたことが審議の中で明らかになりました。「市民会館の整備が第一」と何度も答弁してきた市の姿勢が問われます。今後、皆さんのご意見等も大いに反映させていきたいと思っておりますので、是非お寄せ下さい。

アベノミクスは大失敗

大門みきし参院議員迎えて 日本共産党を語るつどい



日本共産党参院議員
大門みきし

「しんぶん赤旗」読者、後援会員、支持者のみならず、お世話になります。大門みきし参院議員が、「アベノミクスの大失敗から、国民の暮らしをどう守っていくか、みなさん、一緒に考えていきましょう。」と語り、お話を聞かせていただきます。

講演

とき **8月28日(日)**
午後1時30分開会

ところ **勤労者総合センター6階**
(市役所西隣り)



主催：日本共産党北部地区委員会 電話 432-6222

しかし、伏虎中学校跡地の面積は市民会館の敷地面積とほぼ同じです。そもそも、なぜ、そんな話を持ち上がったのか、これまで経済・文教委員会と総務委員会で審査してきたものをより広く議論しようとする議員の総意により6月議会から設置され、党・市議団から姫田高宏議員と森下佐知子議員が入りました。

無料生活法律相談

日時：9月 7日(水)
9月21日(水)
午後6時～7時
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113 (日本共産党市議団直通)